

ぎかい



2014.7.17

小国町議会だより 第121号



表紙写真／ツール・ド・おぐに

一般会計補正 7,043万6千円可決

主な
内容

- 6月定例会概要 2～3 ページ
- 一般質問 4～8 ページ
- 議会活動 9 ページ
- おらもおぐに町民 10 ページ

小国町議会

ホームページ <http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html>
e-mail gikai@town.oguni.yamagata.jp

小国町議会

検索

万6千円を可決! 6億7,192万6千円

平成26年度
6月定例会
6月5日(木)～10日(火)

6月定例会は6日間の日程で開かれ、一般会計等補正予算・条例の一部改正・財産の取得等20件を可決したほか、議会選出の農業委員の推薦を決めた。一般質問は5名の議員が町政の諸問題について町長に質問した。

◆一般会計補正予算

- 町道補修費・スクールバス購入費・職員人件費の組替・町有施設の修繕

補正額 7,043万円

◆国民健康保険事業特別会計補正予算

- 国保システム等改修業務委託

補正額 121万円

条例の制定

小国町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

損害賠償の額の決定について

町営バスの交通事故に基づく損害賠償の額

1,832万円

除雪車の物損事故に基づく損害賠償の額

93万円

農業委員の推薦

議会選出の町農業委員に小国町大字町原591番地、
舟山秋子氏を推薦



一般会計

補正額7,043 補正後の予算総額5

工事請負契約の締結

町道幸町1号線他4路線 道路改良工事

- 場 所：幸町地内
- 請負業者：株式会社高橋工務店
- 工 期：平成26年10月17日

契約額 **10,238万円** (税込み)

町道松岡大石線 道路改良工事

- 場 所：朝篠地内
- 請負業者：山和建設株式会社
- 工 期：平成26年12月12日

契約額 **5,508万円** (税込み)

財産の取得



購入の消防ポンプ自動車

ロータリー除雪車

- 業 者：昭和建機株式会社

契約額 **3,215万円** (税込み)

消防ポンプ自動車

- 業 者：株式会社長谷川ポンプ製作所

契約額 **1,965万円** (税込み)

臨時議会

4月30日開催

- ◆一般会計補正予算可決

※養育医療給付費

149万円

- ◆下水道事業特別会計補正予算可決

汚水管布設工事

1030万円

- ◆税条例の一部を改正する条例の制定の可決

- ◆国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定の可決

※養育医療給付費

2千プログラム以下で生まれた新生児等の未熟児に対し、入院療養等に要した費用を給付する制度

請願3件採択

- 1 特定秘密保護法案の廃止を求める意見書提出について
賛成5名 反対4名

- 2 少人数学級の推進及び義務教育費国庫負担制度の改善に係る意見書提出について
全員賛成

- 3 雇用の安定を求める請願
全員賛成

若年女性に働く場を ＝ハッピーサポーター(仲人)の 育成を行うべき＝



小関 和好

若年女性に働く場を

小関 5月9日の山形新聞

の1面に「地方から大都会への人口の流出が現在のペースで続けば、30年で地方自治体の若年女性は、半分以上になる。」と載っていた。また、4月18日の2面には、山形県の市町村別の出生率・婚姻率の統計が載っており、当町の出生率は、7・2%と35市町村中10番目であった。しかし、婚姻率は、下から4番目である。

昨年の婚活支援の一般質問でも申し上げたが、結婚しなければ子どもは生まれないし、人口も増加しない。

当町の現況では、未婚男性の数は、未婚女性の2倍にもなっている。半導体工場が出来たところを見ても明らかだが、女性が地元に残る職場が無くては、人口減少は止まらない。

これは、当町だけではなく今後の地方の大きな課題である。

町長は、今後の若年女性の働く場所の確保に関して

どう考えるか。

また、関連して、第4次

小国町総合計画の後期基本計画にある結婚活動支援事業・ハッピーサポーター制度の活用に期待しているところだが、その概略を伺う。

町長

少子高齢化の進行が著しい本町では、医療・保健・福祉・介護分野における女性が果たす役割は大きく、今後も、新たな雇用を生み出すものと考えている。そのため、これまでもホームヘルパー2級や介護職員初任者研修資格等の取得に要する経費の一部について支援を行い、21名の方が資格を取得するなど、マンパワーの確保、人材の育成等に努めている。

結婚活動支援事業・ハッピーサポーター制度の活用については、昨年の質問にも答えた通り、未婚者の増加は、少子化の要因の一つと考えられていることから、その対応は、重要な課題と認識している。しかし、結婚は、個人の価値観、人生



町独自の対策が必要

小関 広域の行事に参加するような人たちは、何とかなる人たちである。参加できないでいる人たちを後押しするには、小国町独自の対策が必要だ。ハッピーサポーターは、地区に一人は必要だと思う。

観といったプライベートかつデリケートな問題であるとともに、個人の意思が最優先されることから、行政としての関わり方や対応には限界があると捉えており慎重に進めていくべきものと考えている。こうした環境を認識しながら、県や広域との連携を図りつつ情報提供や出会いの場の創出への支援を展開していく。

町長

難しい問題だととらえている。検討のうえ、町として対応していきたい。



齋藤 弥輔

ハザードマップの配布を早く

地域防災について

齋藤 第4次小国町総合計画・後期基本計画の中で、安全、安心な生活基盤の確保をうたっている。また、小国町地域防災計画が平成26年3月に更新され、第11節の地盤災害予防計画の中で危険箇所の周知において、地域住民に周知徹底を図るとしている。

昨年9月の定例会で、平成24年度策定の防災計画について私が行った一般質問に町長は、今年度中に避難場所や役割分担などをまとめたコンパクトな情報や、地域ごとのハザードマップを提供していくと答弁した。しかし、昨年度中には配布されず、今年度になった4月に小国町防災計画概要版ということでA3サイズの両面刷りの色薄れたものが配布された。この配布物は町民に危険を知らせるハザードマップと言えるのか。そして、町長は防災に対してどのように考えているのか。

町長 町民の方に対する計画内容の周知に当たっては、災害対策基本法等の一部改正に伴い、効果的な避難対策を確保するために、集落コミュニティ等を単位とした緊急対策における避難施設や避難場所、及び学校区等を単位とした生活確保するため一定期間滞在する避難場所として施設の位置付けを行い明確化を行う必要がある。

ハザードマップの作成については県や砂防事務所との連携を密にし、地域における効果的な避難体制の確保に活用できる内容に整理したうえで、町民の方に知らせる。また、災害時の要援護者に対する支援体制の整備や避難誘導体制の確保に向けて、自主防災組織等関係機関と連携を図り、地域防災力の向上に努める。自然災害等から町民の生命、財産、生活を守ることが町政を預かる者として最大の使命である。町民の安心、安全な暮らしを維持していくために、町民、関係

機関等と協力・連携しながら、自助、互助、共助、公助による防災、減災対策を推進し、安全安心のまちづくりに努めていく。

答弁は必ず実行せよ

齋藤 町長がこの場で配布すると言ったものは必ず配布していただきたい。町長の答弁はその場のパフォーマンスであり、実行しなくてもよいと思っているのかを伺う。

町長 町防災会議が3月3日と遅れたのでそうなった。パフォーマンスではない。

災害が発生してからでは遅い

齋藤 災害が発生してから、「災害発生は想定内でした」などと答えることができるのか、過去において小国町で発生している災害に梅雨前線が原因になっているものが6件もある。早い対応で町民に周知をする気はないのか。

町長 いつ何が起こるかは想定できないと思う。なるべく早い時期に配布する。

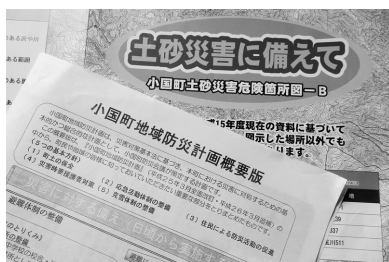
必ず配布できるのか

齋藤 いつまで配布できるのか。それは必ず実行するのか。

町民税務課長 平成25年度までに203の危険箇所が指定されたが、まだ全ての指定が完了したものではない。全体の指定をもってハザードマップを作成し、できる限り速やかに配布する。

先手必勝の施策を

齋藤 行政側には後手後手の対応でなく先手必勝の施策を行っていただきたい。



色薄れた防災計画概要版と平成15年に作成されたハザードマップ

町立病院での人工透析の進捗は



安部 春美

どのように進捗しているか

安部 昨年12月の一般質問で町立病院での人工透析の考え方を聞いたが、あれから6カ月を経過した。その後、どのような進捗になっているのか伺いたい。

医療技術の状況を見ながら実施を判断する

町長 このたび、実施に向けて最大の課題であった医師の確保についての目処がついた。医師確保にあたっては、透析の専門医、あるいは、研修を前提とした維持透析の担当医師のいずれかになる。専門医である腎臓内科の医師は、山形県内においても非常に少なく、公立置賜総合病院でも今年の春から一名減員になったと伺っている。人工透析の医療は、こうした環境下にあることをまずご理解賜りたい。このたび、お願いすることになった医師は人工

透析治療を専門にしてこられた方ではないため、山形大学医学部に向き、ご相談し上げたところ、「透析実施医療機関で概ね1年程度の研修を経て、その医療技術の状況を見ながら実施の判断をすべきこと、研修を含め、実施に向けて山大としてもできる限りの支援をする。」とのこと指導をいただいた。また、研修期間として、公立置賜総合病院をご紹介いただいたので、同病院と研修に係る詳細な内容について協議を重ね、5月20日付で「職員の研修に関する協定書」を締結した。また、同日付けで当該医師を町立病院嘱託医師として任用し、5月20日から研修を開始した。併せて、看護師及び臨床工学技士についても研修が必要となるが、看護師は6月2日から研修を開始し、臨床工学技士については8月4日から開始予定ということで公立置賜総合病院の内諾を得ているので、しかるべき対応をしてまいりたいと考えて

いる。
透析開始の時期が明確になる。
なった時点で改めて説明する。



人工透析に向けた取り組みをすすめる町立病院



本間 義信

認知症対策について

認知症の現状把握とその対策は

本間 認知症対策については、認知症の理解度を深めてもらうための対策、認知症サポーターの養成、対策室の設置などが必要と思う。町は認知症の現状をどのように把握し、どのような対策を講じているか。

町長 本町の認知症の方の現状は、平成26年4月1日現在、地域包括支援センターの取りまとめから、要介護認定者数は595人で、このうち認知症と判定された方は335人で認定者数の56・3%を占めている。認知症の方々の施設入所状況は、さいわい荘等施設入所が150人で、在宅等の方は185名となっている。在宅の方については、地域包括支援センターが専門機関として対応しており、相談内容に応じて専門医への受診を紹介している。

町内の医療・保健福祉・介護などの関係者で構成する「地域連携会議」で、認知症を含む介護福祉における課題の整理や解決に向けた方策を検討するとともに関係者の質の向上を図るための研修会を開催している。

また、平成23年度には、小国町認知症高齢者見守りネットワーク会議を設立し認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう環境づくりに取り組んでいる。

昨年度は、認知症高齢者の見守りや関係機関の役割について会議を開催し連携強化を確認している。

具体的な提案をいただいたが、認知症を広く理解していただくための対策や人材育成については、重要な課題と考えている。

このため、認知症サポーターの養成については平成17年度から19年度に健康サポーターとして32名を養成し、平成21年度には、そのうち16名を対象に認知症サポーターの養成を行い現在、

地域サロン等で活動いただいている。

なお、地域包括支援センターには、認知症サポーターの養成資格を持つ職員を配置しているため、養成講座等を開催しながら、今後より多くの方々が認知症サポーターとして活躍できる体制づくりを進めていく。

町では、本年度に策定する第6期介護保険事業計画において、国の政策を踏まえて認知症対策を重点施策

の一つに位置づけ、必要な対策を検討していくこととしている。

認知症は、早期の段階からの適切な対応が非常に重要であると認識している。高齢者が尊厳を持つていきいきと暮らすために、本人だけでなく介護する家族への支援を含めた地域における一体的な生活支援対策に取り組んでいくので、ご理解願いたい。



認知症対策にもつながる地域サロン

(町づくり後期基本計画) 肝心要は町民の融和



小林 嘉

**過去を活かし
事業効果を高めよ**

小林 まちづくりは、Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) というように、(P) (D) (C) (A) のサイクルを継続的に回し、スパイラルアップすることにより事業効果を高めていくことが極めて重要である。ステップアップした町づくり計画になっているのか。

現状の課題を

方針に整理した

町長 前期5年間の社会経済情勢の変化等に的確に対応していくために、現状の整理と課題を抽出し、基本構想の実現にむけた取り組み方針を整理している。

小林 過去5年間の環境変化をどのようにとらえたか。

町長 「安全安心に対する国民意識の高まり」、「人口減少社会の到来と都市部における高齢化の進行」、「産業構造の変化と経済の多様

性・広域化」、「都市と地方の共生」、4つの環境変化を特に留意すべき点であると整理した。

小林 前期5年間の成果と課題を検証したのか。

町長 主な事業の取り組み状況を整理し、それぞれ成果と課題を明らかにしている。おおむね計画に沿った施策が展開できたものととらえている。

小林 未達の課題は今後5年間の計画に反映したか。

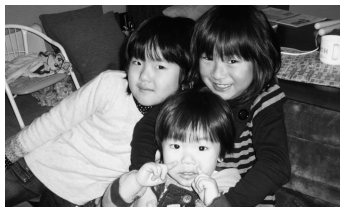
町長 「人口減少社会への確実な対策と人口増をも目指した戦略的・体系的な施策の展開」を重要課題に設定し、産業づくりは重点プロジェクトに位置づけ戦略的に展開する。集落や地域の活性化の取り組みは、地域別テーマにより具体的な方策を展開していく。

小林 財政の中期展望はどのようにとらえているのか。

町長 財源の確保は、実施計画の過疎地域自立促進計画の中で、税収の動向を勘案しながら効率的な財源を見出すとともに、必要な制度提案等に努める。本年度見直す予定の行財政大綱のなかですめる。

小林 計画達成に向けた具体的な取り組みはどうするのか。

町長 重点プロジェクトを



まちづくりは、地域、企業、民間と町の連携協働が重要

設定し、必要性、内容と工程を示している。基本的には地域や企業を含めた民間と町が連携、協働しながら取り組む方向が中心と考えている。

その他の質問

- 閉校舎利用の地域づくり
- 白い森(株)を中核とした観光・交流
- 一般会計の病院会計繰入額の許容範囲

Committee Report

委員会レポート

総務厚生 常任委員会

■ 請願審査

「特定秘密保護法の廃止を
求める意見書提出について
の請願」

3月定例会から審査を継
続してきたが、6月定例会
において報告すべく審査を
行った。

議会の動き

4月

5月

6月

■ 議会運営委員会

4/25

● 委員会活動方針について

4/30

● 第2回臨時会の運営について

5/29

● 第3回定例会の運営について

6/10

● 第3回定例会最終日の運営等につ
いて

■ 総務厚生常任委員会

4/23

● 請願審査

● 所管事務調査

(町民税務課)

● 地方税法等の一部改正について

5/14

● 所管事務調査

● 平成26年度各課主要事業について

● 請願審査

● 委員会活動方針について

5/23

● 所管事務調査

(健康福祉課)

● 小国町健康増進計画について

(総務企画課)

● 後期基本計画について

(町立病院)

● 人工透析について

● 請願審査

6/5

● 請願審査



■ 文教産建常任委員会

5/21

● 所管事務調査

● 平成26年度各課主要事業について

● 委員会活動方針について

5/23

● 所管事務調査

(教育委員会)

● 小国町生涯学習計画について

● 小国町スポーツ推進計画について

● 委員会活動方針について

6/5

● 請願審査

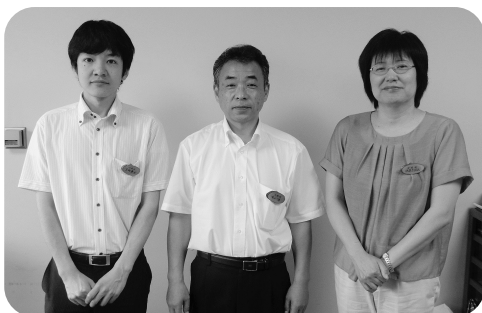
■ 議会広報特別委員会

4/8

● 広報編集校正

4/10

● 広報編集校正



議会事務局のみなさん

議会 事務局

4月の異動で議会事務局
のメンバーが変わりました。
今後も町民の皆様身近に
感じていただけるよう頑張
ってまいりますので、よろ
しくお願いいたします。

事務局長 舟山 博
局長補佐 須藤 奈緒美
書記室 岡 慶 士

おらも おぐに町民

町の人から
ちょっとひとこと



プロフィール

氏名 柴田伸也
年齢 五十二歳
住所 小国町岩井沢
(しばた屋菓子店)

Q ツール・ド・おぐに を始めたきっかけは？

3年前の6月に開催した
わらびサイクリングが始ま
ります。初回は地元のメン
バー7人だけの参加でした
が、回を追うごとに10名か
ら20名と参加者が増え、昨
年秋の大会では50名の参加

でした。今年は山形D.Cの
一環として町に運営資金の
一部を提供していただき、
「ツール・ド・おぐに」とし
て広く参加者を募集した
ところ、2日間の開催で
200名のエントリーがあ
り、反響の大きさに大変驚
きました。

Q 大会の特色は？

小国町の峠道を自転車
で走る大変ハードなコース
ですが、走り終わった後の充
実感は格別なものがありま
す。そして、ゴールした後
にふるまわれる山菜汁やマ
イタケご飯、岩魚の塩焼き
なども参加者には大変好評
です。

Q これからは？

今回は役場の方々に協力
していただき大変助かりま
した。

しかし、それでもまだま
だスタッフが足りません。
参加者が安全に、そして楽
しく走行できるように、大
会当日のボランティアスタ
ッフの確保が急務です。

Q 今後の目標は？

この大会は、県内外から
多くの方々が参加します。
小国の大自然、そして観
光をPRする絶好のチャン
スだと思います。商工会、
観光協会などの協力を得な
がら、「ツール・ド・おぐに」

へ参加したい！小国に行っ
てみたい！と思っていただ
ける大会にしたいと思っ
ています。

また、これを機会に町の
方にも自転車を始めてみよ
うと思っただけければ最
高です。



新緑の中を走る「ツール・ド・おぐに」

次は9月定例会です。
傍聴においでください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局(62)2448

編集 後記

■ことは春から天候に恵
まれ、雑穀の初期生育が順
調である。数年前発売した
「雑穀焼酎」は小国町の特
産品として定着してきた。
今年是小国製麺さんのご協
力により「たかきび雑穀う
どん」の試作中と聞き期待
している。山菜料理と併せ
雑穀料理も町への誘客に一
役買いたいものである。

■「メづくり」で収入の
大半を稼いできた小国町の
農業者が、5年後の減反補
助金の廃止を控え、「おぐ
に農業共生会議」を立ち上
げ当面する問題解決に向け
て活動が始まった。民と官
が知恵を出しあう連携・協
働の「刃」と、導きたす「成
果」に期待したい。生き残
りをかけた取り組みに、私
たち議員も力を尽くしてい
きたい。
小林(記)

発行責任者

議長 伊藤 重廣
議会広報特別委員会
委員長 齋藤 弥輔
副委員長 小関 和好
委員 遠藤 和彦
小林 嘉